

# ホクコーバリダシン® エアー

■種類名：バリダマイシン液剤

■有効成分：バリダマイシン-----5.0%

■登録番号：第16521号

■毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

■登録初年：1986.09.13

■性状：緑色澄明液体

■有効年限：5年

■包装：1ℓ×12本、5ℓ×4缶  
20ℓ×1缶

## 【特長】

- 紋枯病に効果がある。
- 発病後の散布でも降雨の影響を受けにくく、残効が長い。
- 空中散布、無人ヘリコプター散布及び地上少量散布が可能です。

## 【適用内容】(2017年12月6日現在)

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	バリダマイシンを含む農薬の総使用回数
稲	紋枯病	原液	120~150ml/10a	収穫14日前まで	5回以内	空中散布	6回以内 (育苗箱灌注は1回以内、 本田では5回以内)
		7~8倍	800ml/10a				
		25~35倍	3ℓ/10a				
		8倍	800ml/10a			無人ヘリコプターによる散布	
		300倍	25ℓ/10a			散布	

## 【効果・薬害等の注意】

- 使用量に合わせ秤量し、使いきること。
- 散布は散布機種の散布基準に従って実施すること。なお、微量散布の場合は、微量散布装置以外の散布機具は使用しないこと。
- 無人ヘリコプターによる散布にあっては散布機種に適合した散布装置を使用すること。
- 本剤を希釈倍数300倍で散布する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型の速度連動式地上液剤少量散布装置を使用すること。
- 散布中、薬液がもれないように機体の散布用配管、その他散布装置の十分な点検を行うこと。
- 散布液の飛散による他の分野への影響は現在まで認められていないが、なお散布区域内の諸物件に十分留意すること。
- 稲紋枯病に対する本剤の防除適期は病斑の上位葉鞘への進展初期の頃であるので病斑の進展を確認してから適期に散布すること。
- 作業終了後は次の事項を守ること。
  - ◆ 使用後の空の容器は放置せず、安全な場所に適切に処理すること。
  - ◆ 機体の散布装置は十分洗浄し薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理すること。
- きく(秀芳の力等)には薬害を生じるおそれがあるので、かからないように注意して散布すること。

## 【安全使用上の注意】

- ❖ 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。  
眼に入った場合には直ちに水洗すること。
- ❖ 保管：直射日光をさけ、なるべく低温な場所に密栓して保管すること。